



平成28年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社スタジオアリス

コード番号 2305 URL <http://www.studio-alice.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 川村 廣明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 広報・IR室長

(氏名) 田中 和幸

TEL 06-6343-2600

四半期報告書提出予定日 平成28年11月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年12月期第3四半期の連結業績(平成28年1月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第3四半期	24,584	3.1	1,027	104.3	1,028	102.7	219	—
27年12月期第3四半期	23,836	3.6	502	—	507	—	△220	—

(注) 包括利益 28年12月期第3四半期 223百万円 (—%) 27年12月期第3四半期 △171百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
28年12月期第3四半期	12.90	—
27年12月期第3四半期	△13.01	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
28年12月期第3四半期	28,716	19,214	64.1	1,083.13
27年12月期	28,087	19,755	67.7	1,119.15

(参考) 自己資本 28年12月期第3四半期 18,396百万円 27年12月期 19,008百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
27年12月期	—	0.00	—	45.00	45.00
28年12月期	—	0.00	—	—	—
28年12月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年12月期の連結業績予想(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	39,500	3.6	5,450	2.1	5,430	1.8	2,900	7.0	170.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年12月期3Q	17,185,650 株	27年12月期	17,185,650 株
28年12月期3Q	201,318 株	27年12月期	201,258 株
28年12月期3Q	16,984,341 株	27年12月期3Q	16,984,392 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビューの手続きの対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビューは終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(3) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府・日銀の経済政策や金融緩和策等により、企業収益や雇用情勢の改善がみられ、緩やかな回復基調が続きましたが、英国のEU離脱問題など海外経済の不確実性の高まりや、中国を始めとする新興国経済の減速もあり、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、主力である写真事業において、競合他社との差別化強化を図り、お客様に選んでいただけるお店になるための取り組みを行ってまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は24,584百万円（前年同期比3.1%の増加）、営業利益は1,027百万円（前年同期比104.3%の増加）、経常利益は1,028百万円（前年同期比102.7%の増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は219百万円（前年同期は220百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

(写真事業)

写真事業は、昨年同様、「早撮り七五三キャンペーン」並びに、「七五三お出かけ着物レンタル」施策の実施で件数獲得を図りました。また、昨年好評であった七五三ダイレクトメール特典商品として、「My History フォト」を実施いたしました。この商品は、過去に当社で撮影された画像と、今回の七五三で撮影された画像を1枚の写真にまとめたもので、これまでたくさんのお子様の笑顔をとってきた当社ならではの商品としてご好評をいただきました。そのほか7月中旬から8月にかけて雑誌「ちゃお」とのコラボレーション企画である「ちゃおモデル体験撮影会」や、8月に「百日赤ちゃん 笑顔の写真絶対撮りますキャンペーン」並びに、「ディズニーキャラクター撮影キャンペーン」「敬老の日キャンペーン」を実施するなど件数獲得に努めました。

国内こども写真館の出店状況は、移転6店舗を含み24店舗出店、退店8店舗を行い、ショッピングセンター内の区画移動・増床を含む改装を39店舗実施いたしました。

その結果、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は、国内こども写真館500店舗（直営店舗490店・フランチャイズ店舗10店）、アミューズメント写真館1店舗、ペット写真館1店舗、韓国の子会社におけるこども写真館3店舗、台湾の合弁会社におけるこども写真館4店舗を含め、509店舗となっております。

以上の結果、写真事業の売上高は24,566百万円（前年同期比3.5%の増加）、セグメント利益は1,084百万円（前年同期比144.7%の増加）となりました。

(衣装製造卸売事業)

衣装製造卸売事業は、生産コストの低減活動を継続しつつ、当社向けオリジナルブランド衣装等の生産を行うとともに、本年1月より成人振袖レンタル事業を九州地区で開始、9月にダイナシティ小田原店（神奈川県）も出店し、受注の獲得を推し進めております。

以上の結果、衣装製造卸売事業の売上高は1,315百万円（前年同期比6.4%の減少）、セグメント利益は218百万円（前年同期比4.9%の減少）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末と比べ629百万円増加し28,716百万円となりました。

流動資産は、法人税等及び配当金の支払いに伴う現金及び預金の減少及び受取手形及び売掛金の増加等により、前連結会計年度末と比べ149百万円増加の10,989百万円となりました。

固定資産は、新規出店及び移転・改装等による有形固定資産の取得等により、前連結会計年度末と比べ480百万円増加の17,726百万円となりました。

② 負債の状況

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比べ1,169百万円増加し9,502百万円となりました。

流動負債は、短期借入金の増加及び法人税等の支払いによる未払法人税等の減少等により、前連結会計年度末と比べ694百万円増加の6,520百万円となりました。

固定負債は、退職給付に係る負債の増加及び固定負債「その他」に含まれる長期リース債務の増加等により、前連結会計年度末と比べ475百万円増加の2,981百万円となりました。

③ 純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べ540百万円減少し19,214百万円となりました。

これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益及び前連結会計年度の剰余金の処分（配当金支払い）などによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間までの業績は概ね当初計画どおり推移しており、平成28年2月10日に公表した業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第2四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

(3) 追加情報

（法人税等の税率の変更による繰延税金資産及び繰延税金負債の金額の修正）

「所得税法等の一部を改正する法律」（平成28年法律第15号）及び「地方税法等の一部を改正する等の法律」（平成28年法律第13号）が平成28年3月31日に公布され、平成28年4月1日以後に開始する連結会計年度から法人税率等の引下げ等が行われることとなりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は従来の32.2%から平成29年1月1日に開始する連結会計年度及び平成30年1月1日に開始する連結会計年度に解消が見込まれる一時差異については30.8%に、平成31年1月1日に開始する連結会計年度以降に解消が見込まれる一時差異については、30.6%となります。

この税率変更により、繰延税金資産の金額（繰延税金負債の金額を控除した金額）は30,490千円減少し、法人税等調整額（借方）が同額増加しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,818,128	6,186,817
受取手形及び売掛金	825,115	1,138,469
たな卸資産	1,318,871	1,302,540
その他	1,914,528	2,402,910
貸倒引当金	△36,020	△41,000
流動資産合計	10,840,623	10,989,738
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,525,206	8,591,794
その他(純額)	3,380,232	3,716,881
有形固定資産合計	11,905,439	12,308,675
無形固定資産	1,147,954	1,232,381
投資その他の資産		
敷金及び保証金	3,291,459	3,340,381
その他	1,108,458	1,063,996
貸倒引当金	△206,635	△218,735
投資その他の資産合計	4,193,282	4,185,642
固定資産合計	17,246,676	17,726,698
資産合計	28,087,299	28,716,437
負債の部		
流動負債		
買掛金	255,851	279,326
短期借入金	—	1,700,000
未払法人税等	1,281,894	22,399
賞与引当金	79,809	357,913
その他	4,208,176	4,160,701
流動負債合計	5,825,732	6,520,340
固定負債		
退職給付に係る負債	827,107	903,238
資産除去債務	1,239,258	1,280,617
その他	439,939	797,804
固定負債合計	2,506,305	2,981,659
負債合計	8,332,037	9,502,000

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,885,950	1,885,950
資本剰余金	2,055,449	2,055,449
利益剰余金	15,204,666	14,659,461
自己株式	△275,592	△275,722
株主資本合計	18,870,472	18,325,137
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	137,569	71,065
その他の包括利益累計額合計	137,569	71,065
非支配株主持分	747,220	818,233
純資産合計	19,755,262	19,214,436
負債純資産合計	28,087,299	28,716,437

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)
売上高	23,836,809	24,584,652
売上原価	18,326,986	18,817,454
売上総利益	5,509,822	5,767,197
販売費及び一般管理費	5,007,067	4,740,047
営業利益	502,755	1,027,149
営業外収益		
受取利息	2,163	1,854
受取家賃	19,122	19,914
受取補償金	23,980	13,669
雑収入	26,682	16,408
営業外収益合計	71,948	51,846
営業外費用		
支払利息	11,866	5,170
貸倒引当金繰入額	29,000	13,000
為替差損	14,096	25,058
雑損失	12,399	7,530
営業外費用合計	67,362	50,760
経常利益	507,341	1,028,236
特別利益		
固定資産売却益	—	4,252
特別利益合計	—	4,252
特別損失		
固定資産売却損	8,156	—
固定資産廃棄損	310,019	93,842
減損損失	96,406	125,015
特別損失合計	414,582	218,857
税金等調整前四半期純利益	92,758	813,631
法人税、住民税及び事業税	479,828	519,208
法人税等調整額	△223,680	4,317
法人税等合計	256,147	523,526
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△163,389	290,105
非支配株主に帰属する四半期純利益	57,571	71,013
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△220,961	219,092

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△163,389	290,105
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△7,804	△66,503
その他の包括利益合計	△7,804	△66,503
四半期包括利益	△171,194	223,601
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△228,765	152,588
非支配株主に係る四半期包括利益	57,571	71,013

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	写真事業	衣装製造卸売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	23,726,781	110,027	23,836,809	—	23,836,809
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,422	1,295,379	1,300,802	△1,300,802	—
計	23,732,204	1,405,407	25,137,611	△1,300,802	23,836,809
セグメント利益	442,943	229,310	672,254	△169,499	502,755

(注) 1. セグメント利益調整額△169,499千円には、固定資産の調整額等△11,244千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△158,255千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「写真事業」セグメントにおいて、店舗の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては96,406千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	写真事業	衣装製造卸売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	24,552,695	31,956	24,584,652	—	24,584,652
セグメント間の内部 売上高又は振替高	13,753	1,283,332	1,297,085	△1,297,085	—
計	24,566,448	1,315,288	25,881,737	△1,297,085	24,584,652
セグメント利益	1,084,042	218,044	1,302,087	△274,937	1,027,149

(注) 1. セグメント利益調整額△274,937千円には、固定資産の調整額等△122,209千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△152,728千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「写真事業」セグメントにおいて、店舗の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては125,015千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。